

マリンストアニュース

YAMAHA No.37 '83-12-'84-1

ヤマハ船外機・22機種シルバーで新発売



●ニューシルバーマシンのPRを開始した千葉県市川市の「南石田産業さん」への市場の話題、のページにご紹介。

自信をもってお届けします。
ヤマハニューシルバーマシン。

2馬力から220馬力まで
22機種

国内はもとより、世界の船外機をめざすヤマハは、'84ヤマハ船外機のラインアップを大幅に充実、全機種、カラーリング・グラフィックを一新して、みなさまにお届けいたします。

ニューヤマハ船外機のラインアップは2馬力から220馬力まで22機種。小型クラスをモデルチェンジするとともに、新開発の3気筒シリーズで40・50・60・70・80・90馬力の中型クラスを構成。さらに、国内最大馬力群となる150・175・200・220馬力をV型6気筒シリーズで実現したビッグパワーモデル群を加え、漁業、レジャー、全ての用途に完璧に応えるラインアップです。



広めよう!ニューシルバーマシン
ニューシルバードキャンペン
新登場記念セール実施中

魅力あふれる新ヤマハ船外機群=ニューシルバーマシンを市場に導入、話題を盛りあげてみなさまに尚一層の売上げを図っていただくため、ポスター、カタログをはじめ、各種ツール類を豊富に用意して「'84ヤマハ船外機・ニューシルバードキャンペン——新登場記念セール」を実施しております。

- ニュー船外機の店内・店頭展示
- 展示・試乗会、船外機教室、安全点検サービスなどの実施
- 漁協や有力なお客さまへの新製品説明など、ツール類をフル活用し、お店の販売活動を積極的にご展開ください。

- 告知ツール
大型イメージポスター
キャンペーンポスター
告知ちらし
- カタログ
- 店頭・会場ツール
新登場のほりのれん
会場横幕

●ノベルティー
卓上マッチ

漁協・マーケットリーダーなどへのノベルティーとしてご活用ください

浜歩きノベルティー《ポケット・ティッシュ》

浜別キャラバンや浜歩き時にお客さまたちにお配りください



●ユーザープレミアム
新登場記念電卓



人あたりの柔らかな嶋田社長。お孫さん連れて釣り船
を見にこられたお客さまにもていねいに応対

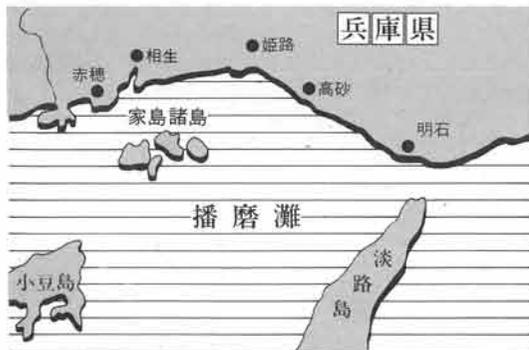


開店八年、楽しく 遊べる環境づくり に全力 新店舗オープンで、 第二期発展目ざす

私の販売戦略

嶋サンヨー
兵庫県姫路市八家

嶋田憲吾さん(40歳)



「嶋サンヨー」社長、嶋田憲吾さんは、ヤマハ兵庫(株)で約三年間、ボートの直売と小卸しを担当した後、昭和五十年に「サンヨー・マリン(株)」を兵庫県姫路市に開店しました。姫路市を含む瀬戸内海・播磨灘沿岸の町々は、昔からボート愛好者の多いところ。灘のほぼ中央に浮かぶ「家島諸島」の周辺には、絶好の釣り場が多く、とくにボート釣りファンにとって播磨灘は魅力ある遊び場です。こうした市場を隈なくセールスして歩いた嶋田社長は、家島諸島まで五海里以内と、最も近い町であり、漁業組合との話し合いによって、販売するボートが係留できることにな

った八木港(八家川の河口)のある姫路市に店を構えることにしました。



クラブ旗は マナーの良い釣り師の証

播磨灘は漁業もさかんなところで、姫路市だけでも六つの漁業組合があります。当然、漁業需要も見込める

わけですが、鳴田社長はプレジャーボートの販売に絞ってご商売を展開してきました。そのため開店以来、ボート免許教室にも積極的に取り組んでいます。

開店当初はランナバウトなど、ボートインクそのものを楽しむお客さまがかなりいましたが、年を追うごとにフィッシングボートのウエイトが高まり、現在は、ほとんどがそのお客。こうした中で鳴田社長は……

「お客さまたちに、いかにしたら便利に、安全に、気分よくボート釣りを楽しんでいただけるか……直接の販売活動以上に、こうした環境づくりに多くの精力を使ってきました」と語ります。

漁師さんが多い播磨灘では、お客さまたち

外交型販売から誘店型販売へ

開店以来八年、鳴田社長のこうした努力が実ってお店のお客さまは約三〇〇名にもなりました。そして鳴田社長は今年の八月、新しい場所に新店舗をオープンし、社名もそれまでの「サンヨー・マリン㈱」から「㈱サンヨー」に改めました。お客さまたちが楽しく遊べる環境づくりをほぼ達成した鳴田社長の第二段階のご商売が開始されたのです。

新店舗は、兵庫県明石市と赤穂市を結び、

に、漁師さんたちとのトラブルなしで楽しく釣りを楽しんでもらうことが、なによりの販促活動、普及活動になると判断したからです。鳴田社長は地元姫路市をはじめ、隣接する市や町にある漁業組合や河川管理事務所に足繁く通って、お客さまたちのボートの係留場所を確保したり、斡旋できるところを次々とつくってきました。また、お客さまたちの主な遊び場である「家島」の漁業組合にもよく出向き、相互理解を深め、お客さまが遊びやすくなるよう努めました。

一方で、お客さまたちにマナー良く遊んでもらうことも啓蒙してきました。同店には「サンヨー・フィッシング・クラブ」というクラブがあり、お客さまの多くがその会員。クラブ旗も用意されています。家島周辺ではときには漁業者とボートマンのトラブルが起きますが、この旗をボートにつけて遊ぶ、お店のお客さまたちとのトラブルはありません。漁師さんたちは鳴田さんのこと、お店のことをよく知っており、この旗は、マナーの良い釣り師を宣言するものとなっているからです。

海岸沿いの道であることから「浜国道」と呼ばれる国道二五〇号線に面して建てられています。

一五〇坪の敷地に、建坪五十坪の二階建て。広いボート展示場と、部品・用品コーナー、事務コーナー、サービスマン工場、社長室兼応接室、講習会場、倉庫からなる立派な店舗は、いやが上にも目立ちますが、鳴田社長の新店舗オープンには次のような意図・目的があり



▲浜国道に面した立派な店舗

お客さまたちのボート約300隻のうち、50隻が係留される八家川河口の八木港



▼部品・用品・機装品展示コーナー



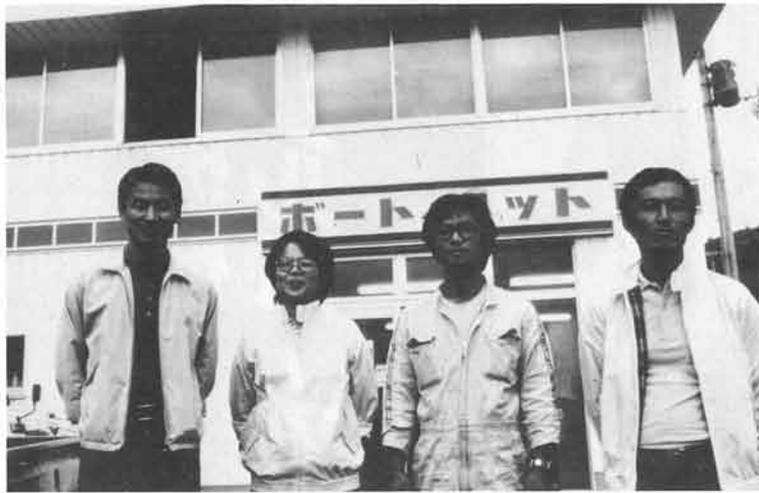
▼事務コーナー



▼サービス工場



ここ4、5年は社長以下、4人の体制で、左から嶋田社長、事務・接客担当の上山さん、サービス担当の中村さんと黒田さん



ました。
①仕事の効率化を図る。これは二つに分けて考えました。
④いままでは別々に分かれていた店舗（事務所）とサービス工場を一体化し、仕事の効率化を図る。
⑤いままではなかったボート展示場を持つとともに、豊富な機装品を展示し、お客さまの艇種選びから、取り付ける機装品まで……、商談成立までの仕事、時間を短縮し、効率アップを図る。
②外交型販売から誘店型販売へ
これまでは主にお客さまの方に出向いて行った販売を、魅力ある店づくりによって、お客さまの方から店に来てもらうようにして商談や情報の提供、収集ができるようにした。

③新規客を開拓し、とくに小型艇を量販する。海に出る人々が多く往来する国道に面して店を構えることで、既存客はもちろん、新規客を積極的に店に呼び込み、これによってとくに小型艇の拡販を図る。
「来店客数は狙いどおり増えましたし、オープン後ひと月の間に、これまでほとんど扱ったことがなかった「シーパック10」や「FISH-13」といった小型艇が4台も売れました。小型艇には衝動買い的なことがよくあるんですね」と嶋田社長。
ボート釣り客を主体とする同店の売れ筋艇は、U-23をはじめとするUシリーズと、FISH-22を中心とするFISHシリーズ。「F-22は発売から現在に至るまで最も人気のあるボート」ということですが、「こゝろ二、二年はF-24の代替需要も増えています。
同店でもお客さまのボートの大型化傾向が見られますが、そうした中で、新発売されたFISHシリーズの最大艇・F-26O/Bと新船外機、V型6気筒シリーズの組み合わせは、嶋田社長の期待の商品。
「年内に3台を成約する目標を立て、いま、めばしいお客さまにアプローチしていますが、先日、いままでもF-24に乗っていたお客さまが代替を決めてくれて、うちの第一号艇となりました。」
新店舗オープンによって、これまで町役場の会議室を会場として行なっていたボート免許教室の座学講習も自店で行うことができるようになった「株サンヨー」さん。
「今後はいままでも以上に、各種講習会を開催してお客さまの来店機会を増やしたい」とも語る嶋田社長は、その一環として、いま、パーソナル無線の講習会を計画しています。
魅力ある店づくりによってお客さまをさらに広げようとする「株サンヨー」さんの第二期発展は、着々と成果を見せはじめています。

国内最大馬力群V型6気筒シリーズと 新開発の3気筒シリーズを加えて

ヤマハ船外機 全22機種 メタリック・マリン・シルバーで 新発売

強力と信頼性の V型6気筒シリーズ 最新の最高技術で衝撃のデビュー

150A, 175A, 200A, 220A

新開発のV型6気筒エンジンを採用して、ヤマハに150、175、200、220馬力と、国内最大馬力級の大型船外機群が一挙に誕生しました。シリーズ中の最大機種、海外市場でもトップクラスのパワーを誇る220Aは、世界最初のマイクロコンピュータによる電子進角点火システム(YMIS)をとり入れるなど、ハイパワー、低燃費、使いやすさ、安全性などの諸点について、いづれも、最新技術を大幅にとり入れて作り上げ、世界市場に旋風をまき起した話題の船外機群です。

●エンジン性能と燃費の向上
60等間隔爆発
オフセットしたクランク・ピンを採用して、60の等間隔爆発を起させることで、大きなトルク、鋭いレスポンス、小気味よい加速の立上り、スムーズな操作フィードバック、全回転域を通じての低振動などの実現に成功。
多気筒エンジンの長所とされる、駆動トルクの変動の小さいことが、シャフトなど駆動部品のサイズダウン、セルモーターの小容量化を容易にし、エンジン全体を軽量、コンパクトなものにしました。

●高速性能の向上
高速型ローアーク・シリングの開発
時速100軒を超える高速域での水抵抗を極力減らすようなデザインで、スピードメーター用のセンサーの内蔵、トルトアップ時にもギアオイル交換可能とするようドレンプラグを改良するなど、使用面での便利さにも留意しました。
高速、高性能プロペラの導入
新デザインのカッププロペラは、キャビテーションやベンチレーションへの耐性が強く、急加速、急旋回時にもプロペラが水中で空転しにくい特性があります。

●安全性と使いやすさの充実
6気筒用CDユニットの開発
全回転域で強く、確かなスパークをつ

排気系の改良
左右シリンダーの排気通路をそれぞれ独立させることで、排気の流れをスムーズ

ホーディング・ファンのシリーズの多様化と、船外機艇の大型化に対応して、昭和59年のヤマハ船外機は、全22機種(2~220PS)のフル・ラインアップついに実現。メタリック・マリン・シルバーのニュー・カラーリングとニュー・グラフィックで、イメージも一新、いちだんと精悍さを増した衝撃のデビューです。

ウオーニングが、リモコンボックス内の安全装置には、スターターセフティスイッチ、エマージエンジンスイッチが、リモコンレバーにはニュートラルロック、それに、フライホイールローターの保護カバーなど、ヤマハ船外機の特徴である十分な安全装置を備えています。
オートレバー(分離給油)の採用
10頁参照。
ニューシフト機構の採用
特に大出力船外機に要求される速応性、シフト・フィードバックの滑らかさ、確実さを実現しました。

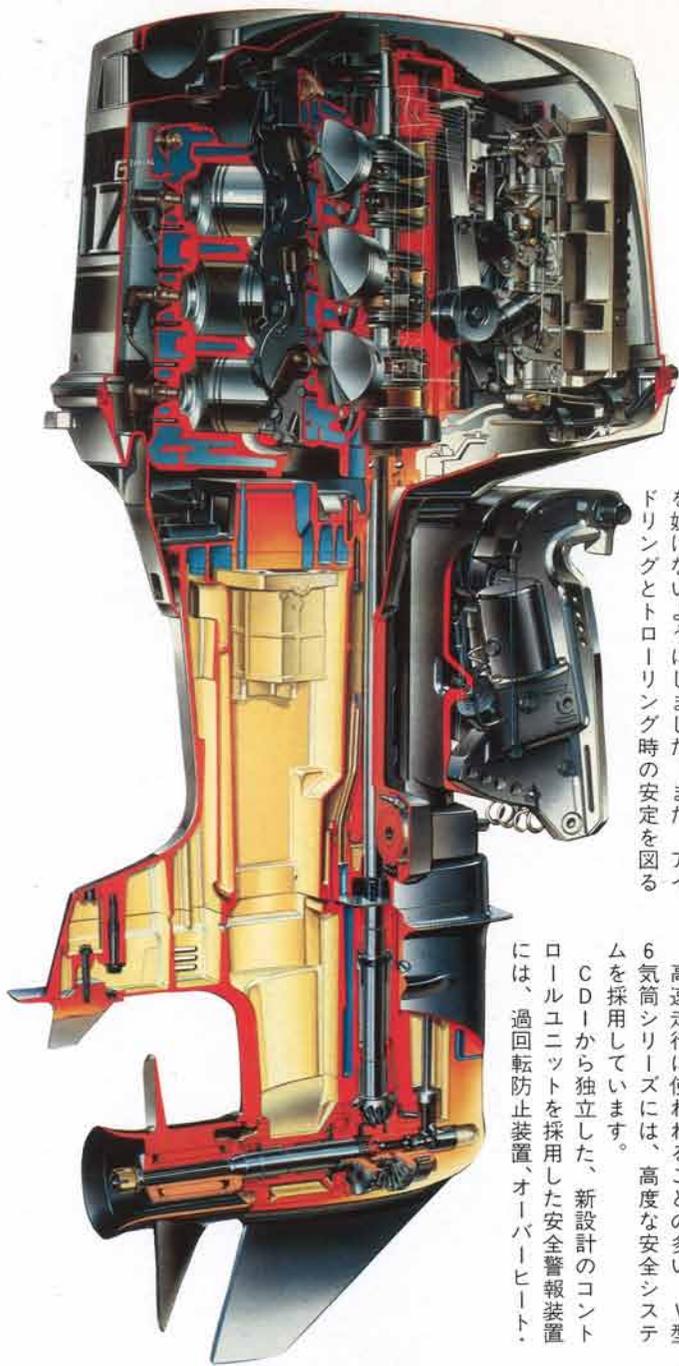
ワンランク上のクラスの性能を
豊富な実績とハイテックで実現
3気筒シリーズ
40H, 50D, 60F, 70B, 80A, 90A

ヤマハ中型馬力船外機群は、メリットが多く、ヤマハが豊富な実績を誇る、3気筒シリーズで新開発した40、50、60、70馬力と、従来の75、85馬力を80、90馬力のパワーアップ、モデルチェンジしたのも含めて全6機種。しかも、ユーザー



新発売V6エンジン

ヤマハが新開発した90バンクV型6気筒エンジンには、次のような特長があります。



ズにしました。

1フロート2ボアキャブレター3連方式の採用

キャブレター個数を半減しながら、しかもキャブレターシリンダーの長所を生かし、他キャブレターの吸気が機能を妨げないようにしました。また、アイドリングとトローリング時の安定を図る

くる、メンテナンスフリーのCDIユニットは、1個で6気筒に点火する方式で、あわせて、軽量化、コンパクト化も図りました。

各種安全システムの採用

高速走行に使われることの多い、V型6気筒シリーズには、高度な安全システムを採用しています。
CDIから独立した、新設計のコントロールユニットを採用した安全警報装置には、過回転防止装置、オーバーヒート、

余裕のパワーと低燃費

8000~10000ccを超えるゆとりでの排気量と、それに対応して

燃焼室も改良、40馬力には予備燃焼室型、60~90馬力にはパンケーキ



型燃焼室を採用し

また、未燃焼ガス漏れを防ぐ排気チューニング、吸気効率を高めるデュアルインテークなど、数々の先進技術の導入が燃焼効果を高め、余裕のパワー、低燃費、低振動、低騒音と、理想の船外機を実現しました。

新メカと

充実の標準装備

また、40H以上には全機種にオートループ機構を、50Dにはパワーシルト、60F以上にはパワーシルト&トリムを、それぞれ標準装備したモデルを用意。また、新シフト機構、各種制御装置など、V4、V6シリーズに採用の新メカが数多く盛り込まれています。

YMIS

ヤマハマイクロコンピュータ・イクワッションシステム

V型6気筒シリーズ中の最大機種、ヤマハ220Aには、世界最初のマイコンを使った電子進角制御システム、YMIS



S^gが採用されています。

最適点火進角は、キャブレターの開度とエンジン回転数によって異なります。この最適点火進角をあらかじめマイコンにプログラミングしておいて、走行中のエンジンの運転状態をセンサーを通じて感知すると、マイコンに記憶されている最適点火進角を自動的に拾いだし、CDIユニットに指示するのがこのシステムなのです。

「YMIS」によって、船型、重量、運転状態に応じて、常にエンジンの可能性を最大限に発揮することができて、出力や加速性能を向上させ、巡航速度では燃費低減をはかることが容易にできるものとなっています。



YAMAHA

AUTOLUBE



Model	40H	50D	60F	70B	80A	90A	115A	140A	150A	175A	200A	220A
Weight (kg)	40/5,500	50/5,500	60/5,500	70/5,500	80/5,500	90/5,500	115/5,500	140/5,500	150/5,500	175/5,500	200/5,500	220/5,500
Length (mm)	3		3		3		4 (V型)		6 (V型)			
Width (mm)	698		849		1,140		1,730		2,596			
Height (mm)	642		711		725		828		828			
Power (kW)	3.50		3.66		3.80		6.02		6.02			
Length (mm) (S)	1,293 (L)		1,373 (L)		1,412 (L)		1,437 (L)		1,587 (L)			
Length (mm) (UL)	515 (L), 642 (L)						515 (L), 642 (UL)		515 (L), 642 (L)			
Stroke (mm)	70.5 (L) ... 40HEO	76.5 (L) ... 50DEO	97.5 (L) ... 60FEO	97.5 (L) ... 70BEO	112.5 (L) ... 80AEO	112.5 (L) ... 90AEO	115.6 (L)	115.6 (L)	179 (L)	179 (L)	179 (L)	182 (L)
40HM	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Power-tilt	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Accessories	40HM 40HEMO 40HEO	50DM 50DEM 50DEO 50DETO	60FEMO 60FEO 60FETO	70BEMO 70BEO 70BETO	80AEO 80AETO	90AEO 90AETO	115AETO	140AETO	150AETO	175AETO	200AETO	220AETO

点火方式は2B (フライホイールマグネット)を除き全てGDI。

圧倒の'84ラインアップ



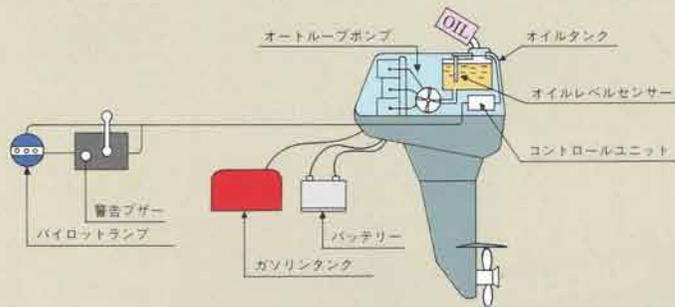
機種名	2B	4A	5C	6C	8C	9.9D	15D	20C	25D	30A
最高出力 (PS/rpm)	2/5,000	4/5,000	5/5,500	6/5,000	8/5,500	9.9/5,000	15/5,500	20/5,000	25/5,000	30/5,500
気筒数	1	1	1	2		2		2		2
総排気量 (cc)	43	83	103	165		246		430		490
全長 (mm)	400	480		475		580		600		600
全幅 (mm)	185	305(A) 315(AC・AS)	315	342		330		360		310(A) 360(AM)
全高 (mm)	920(S)	1010(S)…A, AC 980(S)…AS	1010(S)…C 980(S)…CS	977(S)		1,030(S)		1,105(S)		1,140(S)
トランサム高 (mm)	420(S)	445(S), 572(L)		436(S), 563(L), 627(UL)		442(S), 569(L), 711(SUL)		419(S), 546(L), 594(LL), 632(UL)		632(UL)
重量 (kg)	10(S)	20.5(S)…4A 21(S)…5C		27(S)…6CM 27(S)…8CM		37.5(S)…9.9D 37.5(S)…15D		48(S)…20CM 48(S)…25DM		57.5(L)
オートループ機構	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パワー・チルト&トリム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バリエーション※	2B	4A 4AC 4AS	5C 5CS	6CM 6CEM	8CM 8CEM	9.9D 9.9DE	15D 15DE	20CM 20CEM	25DM 25DEM 25DE	30A 30A 30A

※各機種の後に付く、Mはマニュアルハンドル仕様、Eはセルスターター仕様、Tはパワーチルト&トリム仕様(50DETはパワートリムのみ)、Oはオートループ機構を装備

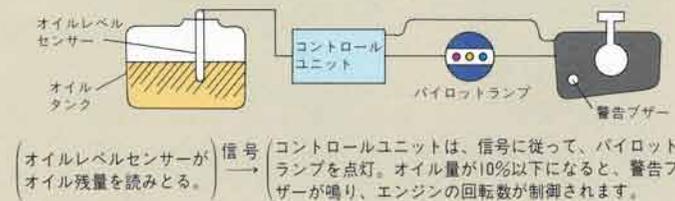


3気筒シリーズのオートループ機構

40H・50Dでは1.2ℓ、60F・70Bでは2.5ℓ、80A・90Aでは3.5ℓが入るオイルタンクをカウリング内に装備。それぞれのタンク容量は、全開で約5時間、連続使用ができるものとなっており、エンジン状態に応じた適正オイル量がオートループポンプによって各シリンダーに供給されます。

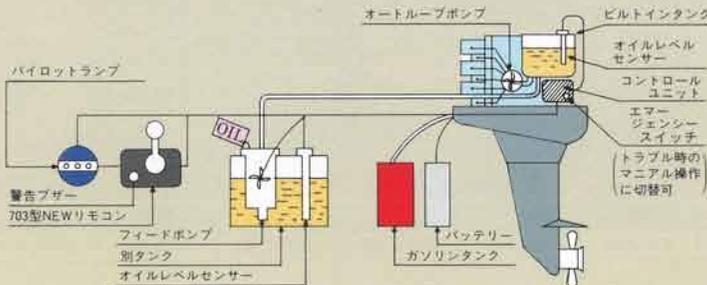


● オイルレベル警告装置

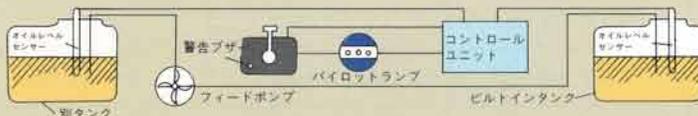


V4、V6シリーズのオートループ機構

オイルの長時間無給油を可能とするよう、0.9ℓ入りのビルトインタンクと、船内に収容する10.5ℓ入りの別タンクを持つ2タンク方式。別タンク内のオイルはフィードポンプによって自動的にビルトインタンクに送られ、オイルはビルトインタンクからオートループポンプによって各シリンダーに適正量が供給されます。



● オイルレベル警告システム



- ビルトインタンクのオイルセンサーが、オイル残量を読み、コントロールユニットに信号を出す。
- ビルトインタンクの残量が半分になると、コントロールユニットがフィードポンプを作動し、別タンクからビルトインタンクにオイルを補給。
- ビルトインタンク、別タンク共に残量がわずかになると、パイロットランプに赤が点灯し、警告ブザーが鳴りエンジン回転数が制御されます。

40馬力以上に採用 オートループ機構 （自動分離給油システム）

ヤマハが世界にさきがけて2サイクル・オートバイエンジンに採用して、「2サイクルエンジン革命」と謳われた「オートループ」(自動分離給油)機構が、40馬力以上の船外機に採用されました。

●常に最適量のオイルをエンジンに供給

この機構は、これまではあらかじめ燃料と混合して用いていた潤滑油を、エンジンが要求する必要最小限に計測し、燃料とは別系統でエンジンに供給する方式です。

オイルの適正量は、エンジン回転数とキャブレタースロットル開度の両面でコントロール、すなわち、エンジンにかかる負荷の大小、回転数の増減に応じて、オイル供給量を増減するオートループポンプにより行われ、気筒数それぞれのインテーク・マニフールド内部に直接供給する仕組みになっています。

●手間がかからず、オイル消費量も低減

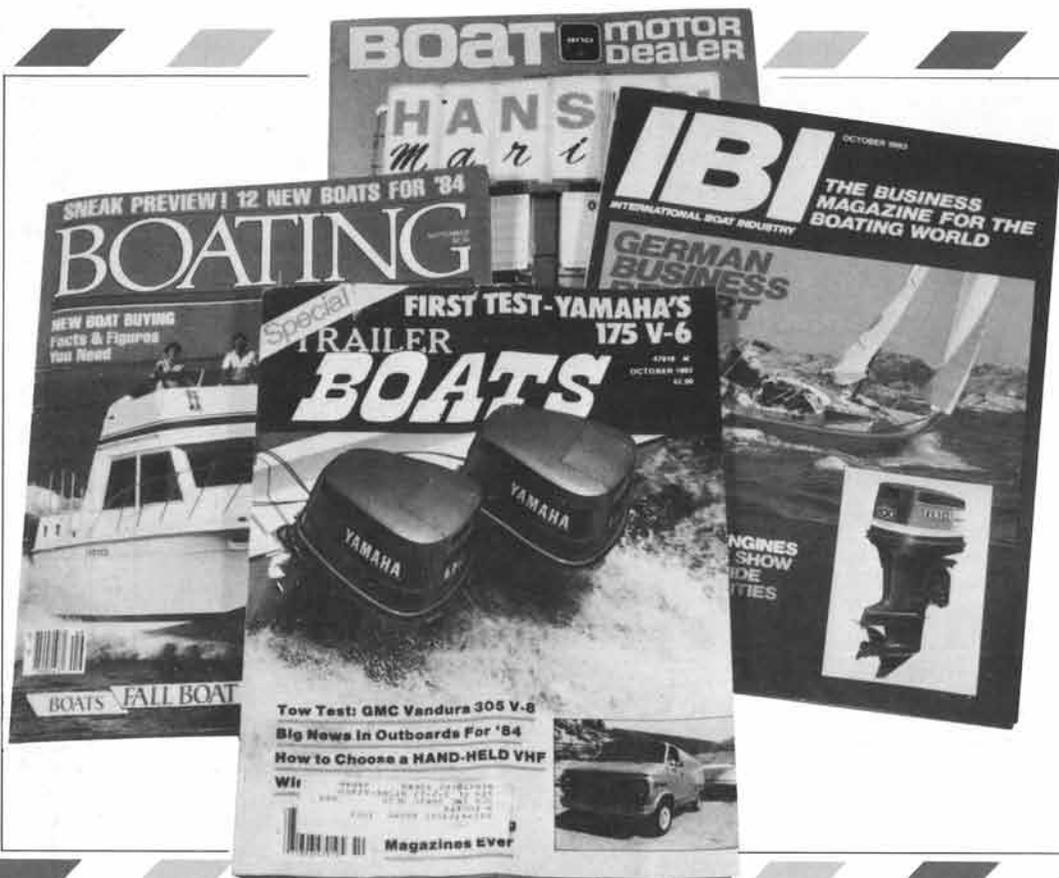
ことができ、オイルの濃過ぎ、薄過ぎという問題もなく、常にエンジンに無理のない、最良の潤滑状態を保つことができます。

「オートループ」機構の採用によって、ユーザーは、燃料とオイルを混合する手間がはぶけ、適正オイル量を供給するのでオイル消費量は低減し、気筒内のカーボン推積が減少する、排気がクリーンであるなどの、大きなメリットを受けます。

オートループ機構には、3気筒用とV4、V6用の2通りがあり、両者ともオイルレベル警告システムを備えています。

海外でも大反響、大好評!!

世界著名ボート専門誌
ヤマハニュー船外機を相次いで報道



ヤマハニュー船外機群は、国内発売と同時に、あるいはそれに先がけて世界各国に発売されました。

世界の主要市場では、発売とともに、ユーザーはもとより、マリン・ボート専門誌をはじめ報道関係者の中で大きな反響を巻き起こし、世界各国のボート誌にもヤマハフルラインの紹介記事が相次いで掲載されています。

それらは、アメリカカのヘトレラー・ボート、ヘボート&モーターディーラー、ヘボータインク、イギリスのヘインターナショナル・ボート・インダストリー、オーストラリアのヘシー・スプレーンなどです。

ヘトレラー・ボート誌の10月号に掲載された「V型6気筒シリーズ（175馬力）のテストレポート記事を要約してご紹介しましょう。

トレラー・ボート誌

●アメリカ

1983年10月号

テスト・ヤマハV6（175馬力）

「日本最高の2ストローク技術・衝撃のデビュー」と題したこのテストレポートは、「アメリカの船外機業界は、今や再編成の時期に達しているようだ」との書き出しではじまり、ヤマハニュー船外機群に採用された数々のメカと特長を解説した後で、V型6気筒シリーズ・175馬力のテストレポートを載せています。

ボートはセンター・コンソールを備えた25フィートの有名な「ボストン・ホエーラ」。それにはじめは175馬力を2基掛けて行われました。

「ヤマハエンジンについていくつかの特色を論じてきたが、重要なのは、実際に使ってみてどうかということであり、この点についてヤマハは申し分なかった」

「スタートおよび回転状況は至極快調。アイドリングの際のスモーク発生は全くなく、また、混合燃料使用の大型エンジンの通弊となっているオイルかぶりもなかった」

「シフトおよびスロットル操作もスムーズに運んだ。シフトの作業感覚は小気味よい」

次に1基掛けにしてテスト
「パワー感覚をよりはつきりさせるために、ヤマハ175馬力、1基だけでボートを走らせてみたが、ボートは簡単に滑走状態に入り、4800rpmで37mphのスピードを維持した。

燃費は、この排気量クラスの2ストロークエンジンで想像していた数値より幾分かよかった。おそらく「ルーフチャージ式」のおかげだろう」

「見るからにすっきりした外観、ノースモークのエンジンスタートの次に印象づけられたのは、このモデルのとても静かな作動音だ。

ノイズレベルを正確に測ったわけではないが、極めて低いと言える。フルスロットルに近い状態でも、作動音は驚異的に低い。普通にしゃべって十分会話ができるほどだ」

こうしたレポートの後でこの記事は：

「うかうかしていると、アメリカの船外機もオートバイのハレー 데이ビッドソンの轍を踏むことになりかねない。我々はヤマハラインのひとつのモデルだけをテストしたに過ぎないが、このモデルが市場に登場すれば、さしあたって人気商品になることは間違いないように思われる」と語り、

「アメリカでの船外機販売競争はこれから、ますます激しさを加えていくことだろうが、ヤマハの先制パンチはかなり強烈だ。アメリカのメーカーは当座はその攻勢をしのいでいけるだろうが、最後まで王座にとどまっていることはできない」と断定的に結んでいる。

奥さまは 店長さん

西本 雅子さん

日本マリンセンター・大阪府堺市花田町



ただ今店内改装中。書類に囲まれて、伝票整理、お客さまの応対とテキパキとこなす奥さまです。

「ご主人の吉勝さん（50歳）が世にいう脱サラをして独立したのが昭和45年のこと。サラリーマン時代のほうがよかったのに」職場結婚をした雅子さんは、店がオープンしたころはそう思っていたそうです。

「わがままですからね。商売には向いていないんじゃないかと、今でも思っているんですよ」ボツボツと言葉を選ぶように話す奥さまですが、ご主人の話にはその活躍ぶりがうかがわれます。

「店頭販売は全て任せています。船外機、ウエットスーツ、ボートセイリング用品などの在庫管理、ボート免許の手続、業務のやりとりはもちろん、お客さまと釣り談議をしていることさえある。人の気をそらさない、商売上手です。今では私の右腕、よき相棒ですよ」思わぬご主人のほめ言葉にちよっぴり照れる店長の雅子さんです。

「主人のモットーは、お客さまを待たせるな、在庫がありませんとは言わないのふたつ。それにはお客さまが欲しがっているものはどんな

おはよう*マリン奥さま

今号は、大阪府堺市の三軒の "キャリアマリン奥様"を一挙にご紹介

ものかを、いつも知ろうとしなければできません。より多くの人といろいろな話をするように心がけています」奥さまの話ぶりにはこの道10年の重みを感じられました。二人三脚、息の合った仕事ぶりです。ますます油が乗ってきたお二人でした。

老舗を支えて30年 これからは ちよつとのんびり

立辻 英子さん

レジャーショップ機タテツジ・大阪府堺市北丸保園



「ヘタテツジ」さんは創業30年になるレジャーショップの老舗です。

「レジャー用品をやつてよかったですね。これからも伸びる産業でしょう」ご主人とゼロからスタートして、今では8人の従業員を抱えるまでになった「ヘタテツジ」さんを育ててきた英子さんの言葉に迷いはありません。「今はね、ウインドサーフィンの本に夢中なんです。ヤングの気持ちを少しでも分らないと商売できませんものね」とやさしい口調の中にも仕事への大きな意気込みがうかがわれます。

「これまでは時間に追われてばかりだったので、これからは、のんびりとボートフィッシングなどをしたいと思います。これもどこか仕事と結びついてしまふんですけれど……」しかたないですねと首をすくめる仕草に、キャリアウーマンの大先輩としての猛烈さは想像できませんでした。

来年は

B級整備士に挑戦

杉生 綾子さん

泉ポート・大阪府堺市浜寺石津町西

「泉ポート」さんの目の前に新浜寺マリナーがあります。そこでの船外機販売・メンテナンスが（泉ポート）さんの主な業務です。

「電話番号が私の主な役目。艇名、お名前、機種、いつ、どこが、どうなったのかなどを正確に聞いて、修理の注文をそのまま主人に伝えます。でも、なかなかきちんと説明できません。私ができない分、主人に負担をかけているようです。そこで一念発起、昭和56年にC級整備士免状を取得しました。なかなかのガンバリ屋の奥さまです。

「エンジンの各部名称を覚えるのにとっても立ちました。お客さまとのやりとりも、以前よりずっとスムーズになったし、仕事がおもしろくなってきました。今度はB級に挑戦します」とますますの意気込みを見せてくれました。



ご主人の岩一さん、長男の寛くん、そして奥さまの綾子さん。長女の真朱くんを加えて、夏休みには必ず4人で釣りに行くという仲よしファミリーです。

ポイント探しのヒントに 「ビッグユニオン・釣り場案内」



「ビッグユニオン・釣り場案内」という、釣りのガイドブックが、国際地学協会から出版されている。

このガイドは①常盤・鹿島、②房総・銚子、③三浦・湘南・真鶴、④伊豆・伊豆七島、⑤東海・渥美、⑥紀伊半島（東）、⑦紀伊半島（西）、⑧瀬戸内海、⑨四国南部、⑩能登半島、⑪山陰・若狭湾と、11の地域別に編集、発行されており、各巻にはそれぞれの地域の釣り場がポイント図を含めて詳細に紹介され、仕掛集とロードマップも付いています。

磯釣り、投げ釣りのためのガイドとして刊行されているのですが、「いつ、どこへ行って、何を、どんな仕掛けて釣ろうか」と思案中のお客さまには、よいヒントやアドバイスとなる内容。一冊お店に備えておけば何かと便利です。定価は各800円。

お店を印象づける 「礼儀作法に強くなる本」

毎日、お客さまと応待されているマリンストアさんに、いままら、ご来店のお客さまへの応待のしかた、電話のかけかた、などについて、気配りをおすすめするのは釈迦に説法のたくいかもしれません。でも、お客さまのすべてが顔見知りであり、

気心の知れたかたばかりとは限りませんし、お店にご主人や奥さまが不在の時には、入ったばかりの事務員さんやサービスマンが応待に出たり、電話をとったりするようなことがあるでしょう。

そうした際にも、お客さまに、良いお店と印象づけるには、本屋さんでこうした本を探して、目を通しておかれてはいかがでしょうか……。 **ダイヤモンド社（1000円）**



海のルアーフィッシング(ススキ釣り) 人気上昇中

ルアーやフライをキャストするフィッシングといえば、その釣りは淡水というのがこれまでの常識。ところが、3、4年前から海でもこれが行われるようになり、最近、その人気は急速に高まっています。

いまのところ対象魚はスズキ。東京湾にはその専用乗り合い船が数隻登場してファンを集めており、マイボートで行う人も増えています。

人気の秘密は、①生餌が不要、②ルアーを収集したり、作ったり、現場でセレクトする楽しみ、③ゲームフィッシングとしての釣技

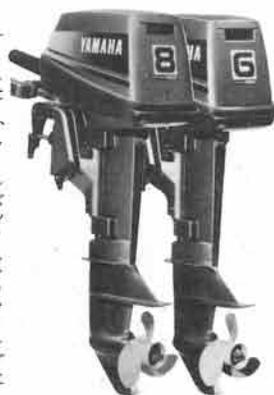
の上達などがあげられますが、ブームはさらに加熱する気配。お客さまにもおすすめしたいかがでしょうか。



性能アップ、より使いやすく 6、8馬力船外機もモデルチェンジ

V6シリーズと3気筒シリーズの新開発の他に、ヤマハニュー 船外機ラインアップでは6馬力と8馬力の2機種が大幅に改良されました。

CDI点火方式、ボス排気などを採用して、低速回転時の安定性向上、エンジン音の軽減を実現。また、テイラーの取引位置を変えて、180度折り曲げ、収納可能としたり使い勝手によってシフトレバーを左右いずれへも取付が可能に。その他にも、スイッチ類をフロントパネルに集中配置して操作をしや



すくしたり、ツールボックスをカウリングに内蔵するなど、使いやすさも一段と向上させました。

有明で九州初のノリ入札会「30円29銭の高値」 今シーズンのノリ養殖はいかに

ノリ漁家を多くお客さまに持つマリンストアさんにとっては大いに気になるところです。去る11月25日、九州地方のトップを切る今

シーズンのノリ入札会が、ノリの本場、佐賀県有明海漁連で開かれ、一枚あたりの平均単価は30円29銭。昨年より2円24銭の高値で

した。また、出品された秋芽ノリは約2億3千万枚で、不作だった昨年を1億枚ほど上回り、総販売高は85億7千万円。これも昨年より約35億の伸びで、一回の入札としてはこれまでの最高を記録したとか。全国のノリ入札もこの調子で景気よく進行してほしいものです。

ヤマハ ミニクレーン



お店では船外機の船体への脱着や、トラックへの積み込みをどのような方法でされていますか。

ヤマハミニクレーンは、船外機の吊り上げ、吊り下げを主目的に開発したものです。V6シリーズのようなビッグパワーモデルの脱着や積み込み作業も楽々こなせます。お店にも備えて、サービスの省力化とスピードアップをおはかりください。

- 長さ……………1200%
- 幅……………400%
- 高さ……………1070%
- 重量……………220kg
- 吊り下げ最大荷重
- 第1ブーム……………480kg
- 第2ブーム……………280kg
- 第3ブーム……………190kg
- 最大作業半径…2450%

※詳しくは担当セールスマンにおたずねください。

重さなんと13kg!

ヤマハポータブル発電機

エレキボーイ(ET250)

新発売



標準小売価格
¥44,800

ヤマハの発電機シリーズに新機種が加わりました。世界で最も小さな発電機でその名は「エレキボーイ」。携帯しやすい小型・軽量のこの「エレキボーイ」は、60Hz-250VA/50Hz-200VAの出力を発揮。ボートに積み込んで照明に、レジャーに、また、非常用電源として重宝にお使いいただけます。

〈主な特徴〉

- 携帯しやすい小型・軽量、13kg
- 低騒音(60Hz-60ホーン/7m、50Hz-58ホーン/7m)
- 排気煙、排気臭の少ない50:1の混合ガス
- 抵抗入りプラグキャップで雑音防止
- 操作集中方式(リコイルスタータ

- 一、チョーク、コック、コントロールボックス)
- メンテナンスフリー(ブラシレス発電、TCI点火etc)
- 4点マウントラバーで優れた安定性
- ワンタッチ・ストップ・スイッチ
- カラーリングは赤と白の2色

部品・用品ガイド

ヤマハ船外機スーパースペシャルオイル



ニュー船外機用に開発

すでにご案内の通り、ヤマハニュー船外機では40馬力以上に、ヤマハバイクで実績のあるオートループ機構(分離給油システム)を採用しましたが、このスーパースペシャルオイルは、ニュー船外機用に開発した船外機オイル。もちろん、混合オイルを用いる機種にも使用可。高性能を発揮します。

〈特長〉

- 高温・低温における流動性の変化が少なく、とくに、流動点は-35°Cと、低温特性にすぐれています。
- 高温においても強い油膜をつくり、摩耗防止性、焼付防止性にすぐれています。

	容量		部品No.	標準小売価格
A	0.4ℓ (プルトップ缶)		90890-6382 H	480円
B	1.0ℓ (キャップ缶)		90890-6382 E	800円
C	20ℓ (ペール缶)		90890-63829 E	14,500円

マリンディーゼル用/凍結防止、防錆、冷却液

ヤマハディーゼル ケンドル ロング・ライフ・クーラント

マリンディーゼル間接冷却用として、とくに純良なエチレングリコールをベースに特殊添加剤を配合。冬期は不凍液として、夏期は冷却液として年間を通じて使用することができ、とくに、凍結防止、防錆防蝕、オーバーヒートなどの防止にすぐれた効果を発揮します。



ヤマハニュー船外機 補修用スプレー

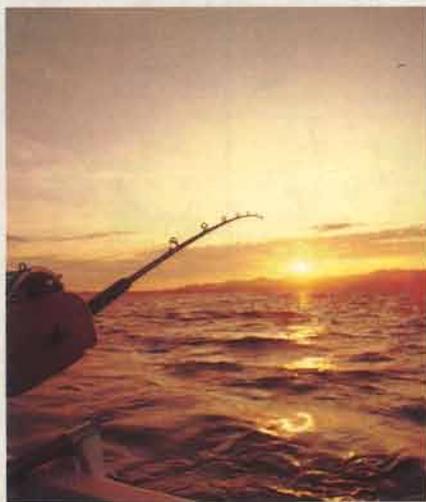
- カラー/メタリック・マリン・シルバー
- 部品番号/90890-40065
- 標準小売価格/1,200円

BEST COMBINATION!

ヤマハプレジャーボート&ニューシルバーマシン



'84新艇と、マリン・シルバーにお化粧がえした新船外機。艇種と機種がバラエティに富んで、広い選択ができるのもヤマハならではと、チョッピリ自負しています。お客さまのご要望にあわせて、お勧めください。



FISHシリーズ

呼称推奨馬力 呼称最大馬力

FISH-12 II 5~6PS / 8PS

FISH-13 6~8PS / 9,9PS

FISH-15 CUSTOM 30PS / 40PS

FISH-17 II 40PS / 40PS

FISH-20 55PS / 60PS

FISH-22 $\frac{0}{8}$ 75PS / 90PS

FISH-24 $\frac{0}{8}$ 85PS / $\frac{115PS \times 1}{55PS \times 2}$

FISH-24 II $\frac{0}{8}$ 115PS / 140PS

NEW FISH-26 $\frac{0}{8}$ 150PS / $\frac{175PS \times 1}{90PS \times 2}$

PASSPORTシリーズ

PASSPORT-17X 85PS / $\frac{100PS \times 1}{55PS \times 2}$

PASSPORT-17CR II 40PS / 55PS

PASSPORT-19CR III $\frac{0}{8}$ 85~115PS / 140PS

STRIPEシリーズ

呼称推奨馬力 呼称最大馬力

STR-19RX 115PS / 140PS

NEW STR-21RX $\frac{0}{8}$ 175PS / 200PS

U&UWシリーズ

U-15AFDX 30PS

U-17BFDX 40PS

U-19BFDX $\frac{40PS \times 1}{30PS \times 2}$

NEW U-23BFDX 70PS

UW-14A 9,9PS

UW-14BF 15PS

UW-18FF 25PS

UW-19CF-5 30PS

UW-23AF-5 40PS

FISHING BOATシリーズ

ポイント 8S-G 2PS / 2PS

シーバック10S-G 4PS / 4PS

TRI-10FS 6~8PS / 9PS